

個 人 質 疑 発 言 通 告 一 覧 表

令和 8 年第 1 回市議会臨時会

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
1	大 園 た つ や	日 本 共 産 党		

発言の要旨

1 「第 1 2 9 号議案 専決処分の承認を求める件」（物価高対応子育て応援手当支給事業）について

- (1)事業の目的
- (2)事業費と内訳及び財源
- (3)給付内容と要件及び対象世帯と児童の数と内訳
- (4)事業内容について
  - ①差押えの対象か
  - ②基準日とそれ以降の対応について
    - ア. 基準日以降の出生が申請不要となるスキーム
    - イ. 対象児童が死亡している場合
    - ウ. 海外や他自治体へ転出している場合
    - エ. 離婚している場合
  - ③DV被害等で受け取りが難しい事例への具体的な対応
- (5)物価高騰対策の他事業とは別に専決処分した理由
- (6)今後のスケジュールと他都市との比較

2 「第 1 3 0 号議案 令和 7 年度鹿児島市一般会計補正予算（第 7 号）」について

- (1)国の補正予算と本市の対応について
  - ①国の補正予算について
    - ア. 内容
    - イ. 物価高に直面する家計の直接的な負担軽減額とマクロ経済全体に対する効果
    - ウ. 大規模な国債発行は「責任ある積極財政」と言えるのか。見解
    - エ. 国の補正予算に対する市長の評価
  - ②本市の対応について
    - ア. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付限度額
    - イ. 今回の補正予算における活用額及び今後の活用予定額
    - ウ. 国の推奨事業メニューと本市の主な取組
- (2)物価高騰対策給付事業について
  - ①事業の目的と期待される効果

②事業内容について

- ア. 基準日とそれ以降の取扱い
- イ. 世帯・対象者数
- ウ. 配付方法と有効期限の考え方及びカードの概要と選定した理由
- エ. DV被害等で受け取りが難しい事例への具体的な対応
- オ. 事業費とその内訳（郵送費等）
- カ. 今後のスケジュール

③おこめ券や現金給付にしなかった理由

(3)プレミアム付商品券等発行支援事業補助金について

①事業の目的

②事業内容について

- ア. 補助率等の内容
- イ. 対象者
- ウ. 事業費とその内訳
- エ. 今後のスケジュール

③同事業のこれまでの実施団体数及び構成団体数と経済効果

④同商品券が発行されていない地域への対応

(4)省エネルギー家電製品等購入補助事業について

①事業目的

②事業内容について

- ア. 対象製品及び補助金額
- イ. 事業費と件数の見込み
- ウ. 補助の制限と確認方法
- エ. 予定される申請期間

③7年度当初予算での取組について

- ア. 実績と効果
- イ. 予算を超えて申請があった場合の対応
- ウ. 補助の制限に係るトラブルの有無

(5)物価高騰に係る学校給食費支援補助金について

①事業内容

②補助金額等について

- ア. 補助金額と喫食数の見込み
- イ. 食料の消費者物価指数の推移
- ウ. これまでの事業効果と年度内に給食費を値上げした学校数
- エ. 補助を増額する必要性についての見解

③対象校等について

- ア. 対象校と交付方法及びスケジュール
- イ. 学校給食を休止している不登校の児童生徒への交付も検討すべきでは。見解

(6)物価高騰対策として今後の早急な重点支援地方交付金の活用を具体化すべき。市長の見解

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
2	の ぐ ち 英 一 郎	に じ と み ど り		

#### 発言の要旨

- 1 「第130号議案 令和7年度鹿児島市一般会計補正予算（第7号）」における 49 億 3,548 万 8 千円の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等の活用について
  - (1) 省エネルギー家電製品等購入補助金 9,400 万円について
    - ① こうした枠組みは今回で何回目か、また、これまでの実績
    - ② これまでの実績をどのように検証して今回の議案としたものか
    - ③ これまでの事業で売上げにつながった本市の販売事業所数の推移と市内事業所に占める割合
    - ④ これまでの事業を使った方も利用可能か（抽選のときなども勘案して）
    - ⑤ 統一省エネラベルの普及状況の把握
    - ⑥ 委託料 2,200 万円における改善や合理化と仕様書や広報などへの反映
  - (2) 物価高騰対策給付事業 33 億 2,460 万 8 千円について
    - ① 約 4 億円の事務費の内訳
    - ② DV避難・入院・施設入所・障がいがある方・外国人など配慮が必要な方の認識と送付作業と利用での配慮と周知
    - ③ 盗難や転売への対策
    - ④ 約 29 万世帯に遅くともいつまでに配付が完了する見込みか
    - ⑤ 残高はどのように確認可能か
    - ⑥ 現金との併用・同時に 2 枚以上を利用可能か
    - ⑦ 期限が切れると一切使えなくなるものか
  - (3) プレミアム付商品券等発行支援事業補助金 10 億 2 千万円について
    - ① 今回で何回目か
    - ② これまでの省察に基づく改善や合理化と募集案内等への反映
    - ③ 事業実施対象団体は市内に幾つあるか
    - ④ ③のうち、これまでの実施団体及び構成団体数の推移
    - ⑤ 同一団体の実施回数区分ごとの団体数
    - ⑥ ⑤のうち、実施した最小規模の団体と販売額
    - ⑦ 未実施団体の課題と同団体への当局サポートと今後の対応
    - ⑧ 在住外国人へのこれまでの広報と今後の課題
  - (4) 障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業と介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業について
    - ① 役務費・需用費についてこれまでと同様の支援事業の省察を踏まえた改善や合理化の内容

2	のぐち英一郎	にじとみどり
---	--------	--------

(5) 西郷どんに「愛に行こう、かごしま。」宿泊キャンペーン事業 2 億円について

- ①同様の枠組みで何回目か
- ②運営者はどのようにして決めるのか。また、これまでの運営者の選定と実施の省察に基づく改善や合理化と仕様書等への反映
- ③今回の運営者選定の考え
- ④4,600 万円の運営費等の主な内容
- ⑤これまでにキャンペーンを利用した方などリピーターの把握
- ⑥事業のネーミングの趣旨となぜ公募しなかったのか
- ⑦在住外国人へのこれまでの広報と今後の課題

2 「第 129 号議案 専決処分の承認を求める件」(物価高対応子育て応援手当支給事業) について

- (1) 事務費 3,871 万 6 千円の内訳とこれまでの同様事業の省察の反映
- (2) DV 避難・入院・施設入所・障がいがある方・外国人など配慮が必要な方の認識と支給作業での配慮

3 補正予算全体について市長の考えについて

- (1) 今回の議案における事務費・委託料等の総額
- (2) 国からの交付金を市民一人当たりで割ると幾らになるか
- (3) 今回の全事業が食料高騰の負担軽減にどのように資すると考えているか
- (4) これまでの同様の事業の検証と利用機会の平等の確保はどのようにされるか
- (5) 現金給付についての考え